

問1 15世紀に沖縄本島を統一し、琉球王国を建国した人物は誰ですか？

1. 尚巴志 2. 尚真 3. 尚泰 4. 尚円

問2 室町時代の中期、京都の東山に山荘を建てて文化を奨励した第8代将軍は誰？

1. 足利義満 2. 足利義政 3. 足利尊氏 4. 足利義教

問3 室町時代に、幕府から地方の軍事・行政権を与えられ、領地を支配した地方官を何という？

1. 国司 2. 探題 3. 地頭 4. 守護

問4 琉球王国が、貿易の拠点として整備した都は現在のどこにあたるか？

1. 佐敷 2. 那覇 3. 首里 4. 浦添

問5 室町幕府において、将軍を補佐するために置かれた幕府の重要役職を何という？

1. 探題 2. 管領 3. 守護 4. 地頭

問6 室町幕府の第3代将軍であり、京都の北山に金閣を建てた人物は誰？

1. 足利義満 2. 足利尊氏 3. 足利義持 4. 足利義政

問7 15世紀、琉球王国を建国する前に、それまで分立していた北山・中山・南山の3つの勢力を統一したことを何という？

1. 三省 2. 三職 3. 三成 4. 三山

問8 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

1. 光厳天皇 2. 足利義満 3. 後醍醐天皇 4. 足利尊氏

問9 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた文化を何という？

1. 東山文化 2. 北山文化 3. 桃山文化 4. 国風文化

問10 祇園祭が室町時代に一時中断する原因となった、京都を主戦場とした大規模な内乱を何という？

1. 応仁の乱 2. 観応の擾乱 3. 享徳の乱 4. 文明の乱

問11 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代将軍は誰？

1. 足利尊氏 2. 足利義満 3. 足利義政 4. 足利義持

問12 東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間、棚などを備えた日本の住宅建築の様式を何という？

1. 寝殿造 2. 武家造 3. 数寄屋造 4. 書院造

問13 室町時代、京都に慈照寺銀閣を建てて、簡素で気品ある文化の発展を支えた将軍は誰？

1. 足利尊氏 2. 足利義政 3. 足利義満 4. 足利義教

問14 琉球王国が中継貿易を行う上で、最も重要な窓口となっていた当時のアジアの大国を何という？

1. 中国 2. タイ 3. 朝鮮 4. 日本

問15 建武の新政の混乱を批判し、1334年に京都の二条河原に立てられた落書で、その当時の混乱を招いた天皇は誰ですか？

1. 後白河天皇 2. 後鳥羽天皇 3. 後醍醐天皇 4. 後深草天皇

問16 室町時代の定期市において、広く流通していた中国から輸入された銅銭を何という？

1. 富本銭 2. 寛永通宝 3. 和同開珎 4. 宋銭

答え合わせ・解説

問1	答え 1 尚巴志	中山の王であった尚巴志は、優れた軍事力と外交手腕を駆使し、1429年に沖縄本島を統一して琉球王国を建国しました。首里を王都と定め、後の琉球王朝の基礎を築きました。
問2	答え 2 足利義政	足利義政は京都の東山に山荘（現在の慈照寺）を建て、そこを拠点に水墨画、茶の湯、華道などを愛好しました。この時期に醸成された文化は、簡素で気品のある「わび・さび」の精神を重んじる東山文化として完成されました。
問3	答え 4 守護	守護は幕府に任命された地方の支配者で、軍事と警察権だけでなく、徴税権も認められるようになりました。これにより、守護は領地を支配する「守護大名」へと成長し、地域をより強力に統治するようになりました。
問4	答え 3 首里	首里は琉球王国の王都として整備され、首里城が置かれました。ここを拠点に琉球は明や東南アジア諸国との間で中継貿易を行い、各国の特産物を集めて再分配することで大きな利益を得ました。首里はまさに王国の政治・外交の中心地であり、交易により発展した高度な文化が根付く街でした。
問5	答え 2 管領	「管領」は幕府の最高職であり、将軍に代わって政務を取り仕切る重要な役割を担いました。特に力のある有力な守護大名の家柄（斯波、細川、畠山氏など）から選ばれることが多く、幕政の実権を左右する大きな影響力を持っていました。
問6	答え 1 足利義満	義満は京都の北山に別荘として北山殿を造営し、その象徴として金閣を建てました。金閣は伝統的な公家文化と新興の武家文化を融合させた豪華な建物です。この建築様式は、義満の時代の文化を象徴するものとなりました。
問7	答え 4 三山	15世紀の初め、中山の王であった尚巴志が、この3つの勢力を統一しました。これにより、島全体を統括する「琉球王国」が誕生しました。統一により社会の安定がもたらされ、後の東アジアにおける活発な中継貿易の拠点となる地盤が築かれました。
問8	答え 3 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。
問9	答え 2 北山文化	北山文化の特色は、伝統的な公家文化の優雅さと、力強い武家文化が融合している点にあります。この時期には金閣に代表されるような建築のほか、禅宗の影響を受けた芸術や学問が発展しました。
問10	答え 1 応仁の乱	約11年間にわたって京都の市街地が戦場となり、寺院や屋敷が焼き払われました。京都の街は壊滅的な被害を受けましたが、一方で幕府の権威は地に落ち、全国で下剋上の風潮が強まることとなりました。
問11	答え 3 足利義政	足利義政は、政治への関心を失う一方で、禅宗の思想の影響を受けた「わび・さび」という独特の美的感覚を深めました。自らの山荘として慈照寺（銀閣）を建て、そこを拠点に東山文化を花開かせました。
問12	答え 4 書院造	書院造は、畳を部屋全体に敷き詰め、床の間や棚、障子、襖などを配置した建築様式です。特に、部屋の中に「書院」と呼ばれる机の役割を果たす出窓が設けられたのが最大の特徴です。足利義政の東求堂同仁斎は、この様式を伝える貴重な遺構として知られています。
問13	答え 2 足利義政	足利義政は京都の東山に山荘を構え、茶の湯や華道、連歌などの文化的な活動を奨励しました。義政自身が理想とした「わび・さび」という美的感覚が、その後の建築や庭園のデザインに反映されました。
問14	答え 1 中国	琉球王国は明の皇帝から認められることで、東南アジア諸国との貿易を自由に行うことができました。中国から手に入れた陶磁器や絹織物などを、日本や東南アジアへ運ぶことで、東アジアにおける物流の要所としての役割を果たしました。この貿易ルートのおかげで、琉球王国は短期間で急激な経済発展を遂げることができました。
問15	答え 3 後醍醐天皇	しかし、この政治は急進的な改革が多く、武士の恩賞問題などが解決されなかったため、多くの不満を招きました。1334年に京都の二条河原に立てられた落書は、この無秩序な世相や公家による政治への批判を、七五調で風刺したものです。
問16	答え 4 宋銭	宋から輸入された「宋銭」や、後の明から輸入された「明銭」が流通し、人々の生活に浸透しました。これにより、年貢も米だけでなく銭で納められることが増え、商品経済が飛躍的に活性化しました。